

ペットは室内9割強

シースタイル調査不可物件の飼育⁶5%

不動産関連の比較査定サイト「スマイスター」を運営するシースタイル（東京都中央区）は9月12日、日本記念日協会が認定する「わんにゃんの日」（毎月12日）に合わせ「住まいとペット」について調査した。同サイトを利用した20代以上

「爬虫類」(3・2%)、などとなった。
ペットの数は1匹が55・8%と最も多く、次いで「2匹」(23・1%)、

の全国1097人を対象に調べたところ、ペットを「飼っている」人は36・7%、「飼っていない」が63・3%だった。

飼っていない人の84・6%がペット不可の物件に住んでいるほか、ペット不可の物件でペットを飼っている人が5・6%いることもわかった。

居住形態を聞くと、飼っている人で最も多いのが「持ち家戸建て」(68・7%)が約7割を占めた。飼っていない人でも持ち家戸建てが57・6%で最も多かった。

飼っているペットの種類は、複数回答で1位は「犬」(63・8%)、2位が「猫」(37・5%)とこの2種類が圧倒的だった。以下は、「金魚・鯉」(6・7%)、「鳥類」(4・2%)、「熱帯魚」(4・0%)、

「3匹」(7・7%)、「4匹以上」(13・4%)などだった。飼っている場所は「室内」が90・6%に達した。

また、飼っている人に「同居人数と婚姻状況」もたずねたところ、未婚者では「1人暮らし」(8・4%)と「2人暮らし」(7・9%)が多く、既婚者は「2人暮らし」(28・5%)と「3人暮らし」(20・6%)、「4人暮らし」(17・6%)と続いた。

ペットを飼っているのトラブル経験は「ない」(85・4%)がほとんどだったが、「ある」(14・6%)との回答では「壁紙やフローリングがボロボロになった」が61・0%を占めて「鳴き声がうるさい」(28・8%)が続いた。